

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名	柔道Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎柔道場
担 当 教 員	岩村 一成	実務経験と その関連資格	平成16年より接骨院勤務。平成19年に柔道整復師専科教員免許取得。 平成24年より大阪ハイテクノロジー専門学校で勤務。 柔道整復師・柔道整復師専科教員・講道館柔道五段・認定実技審査員(整備・柔道)			
《授業科目における学習内容》						
投技の形である、手技(浮落・背負投・肩車)、腰技(浮腰・払腰・釣込腰)、足技(送足払・支釣込足・内股)の習熟度を上げる。 認定実技審査の形項目を実施する。認定実技審査および柔道指導の基礎を修得する						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験: 100 %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
認定実技審査実施要綱						
《授業外における学習方法》						
わからないことがあれば、放課後に実施しているゼミなどを活用してください 講道館が発行している「柔道の形」を確認し自主学習を心がけてください。また、柔道の試合などを観戦するのも有用です。						
《履修に当たっての留意点》						
わからないことがあれば、ゼミなどを活用してください。 ケガや身体のことで痛みや制限などがありましたら事前に相談してください。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	柔道の基本である礼法、受け身ができる	認定実技審査出題基準	講道館が発行している「柔道の形」を確認し自主学習を心がけてください	
		各コマにおける授業予定	礼法、受身の復習			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	浮落ができるようになる	認定実技審査出題基準	講道館が発行している「柔道の形」を確認し自主学習を心がけてください	
		各コマにおける授業予定	手技「浮落」の説明および練習			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	背負投ができるようになる	認定実技審査出題基準	講道館が発行している「柔道の形」を確認し自主学習を心がけてください	
		各コマにおける授業予定	手技「背負投」の説明および練習			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	肩車ができるようになる	認定実技審査出題基準	講道館が発行している「柔道の形」を確認し自主学習を心がけてください	
		各コマにおける授業予定	手技「肩車」の説明および練習			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	手技の習熟度を確認する	認定実技審査出題基準	講道館が発行している「柔道の形」を確認し自主学習を心がけてください	
		各コマにおける授業予定	まとめ、「手技」小試験			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	浮腰ができるようになる	認定実技審査出題基準	講道館が発行している「柔道の形」を確認し自主学習を心がけてください
		各コマにおける授業予定	腰技「浮腰」の説明および練習		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	払腰ができるようになる	認定実技審査出題基準	講道館が発行している「柔道の形」を確認し自主学習を心がけてください
		各コマにおける授業予定	腰技「払腰」の説明および練習		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	釣込腰ができるようになる	認定実技審査出題基準	講道館が発行している「柔道の形」を確認し自主学習を心がけてください
		各コマにおける授業予定	腰技「釣込腰」の説明および練習		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	腰技の習熟度を確認する	認定実技審査出題基準	講道館が発行している「柔道の形」を確認し自主学習を心がけてください
		各コマにおける授業予定	まとめ、「腰技」小試験		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	送足払ができるようになる	認定実技審査出題基準	講道館が発行している「柔道の形」を確認し自主学習を心がけてください
		各コマにおける授業予定	足技「送足払」の説明および練習		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	支釣込足ができるようになる	認定実技審査出題基準	講道館が発行している「柔道の形」を確認し自主学習を心がけてください
		各コマにおける授業予定	足技「支釣込足」の説明および練習		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	内股ができるようになる	認定実技審査出題基準	講道館が発行している「柔道の形」を確認し自主学習を心がけてください
		各コマにおける授業予定	足技「内股」の説明および練習		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	足技の習熟度を確認する	認定実技審査出題基準	講道館が発行している「柔道の形」を確認し自主学習を心がけてください
		各コマにおける授業予定	まとめ、「足技」小試験		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	投げの形についてさらに稽古し、習熟度を向上させる	認定実技審査出題基準	講道館が発行している「柔道の形」を確認し自主学習を心がけてください
		各コマにおける授業予定	まとめ、全体練習、試験説明		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	投げの形ができるようになる。	認定実技審査出題基準	講道館が発行している「柔道の形」を確認し自主学習を心がけてください
		各コマにおける授業予定	まとめ 学生の習熟度の確認、試験説明		